

建物屋上 / 基礎アゴ材/カバー

K802-1.01

平成 29 年 01 月

建物の屋上は、各種設備機器の基礎が多く設置されている。この各種水槽・避雷針・各種アンテナ・各種配管等の基礎は、当然防水処理が必要であり、アゴ付コンクリート基礎で防水層を処理している。

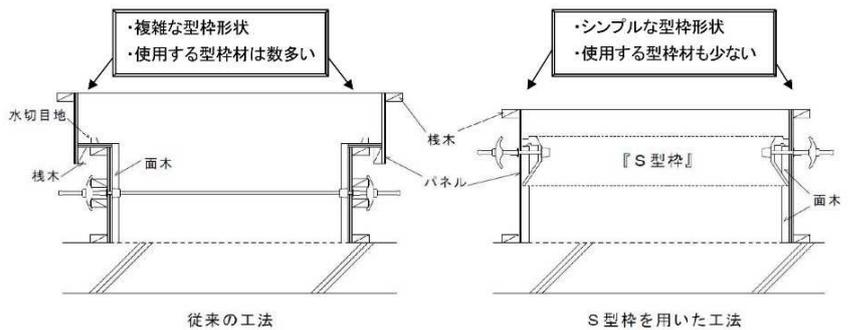
☆ 基礎防水処理用アゴパネル

アゴ付コンクリート基礎は、型枠は小さいのに複雑で手間が掛かり、鉄筋、コンクリート打設、型枠ばらし、残材処理、コンクリート補修、防水工事と非常に工程が多く手間が掛かり生産性の低い方法である。これらを解消するために、アゴ・防水処理部分をGRC製品に置き換えて型枠を単純化し、かつ基礎サイズを2種類に集約して効率化を図った工法とした。



施工方法

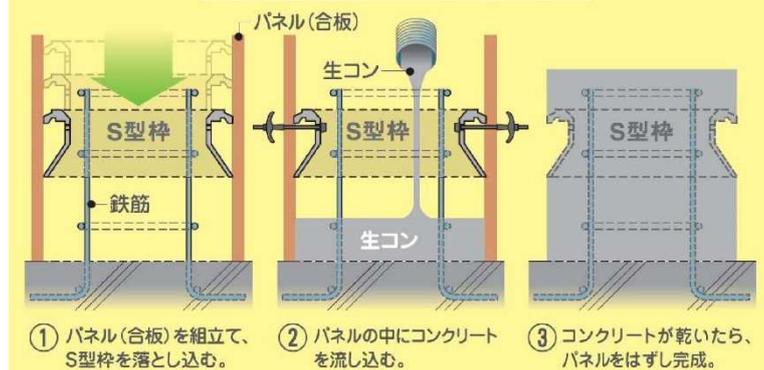
【屋上基礎の従来工法と『S型枠』を用いた工法との違い】



小タイプのS型枠と付属部材

S型枠の取付完了

S型枠を使用した作業工程

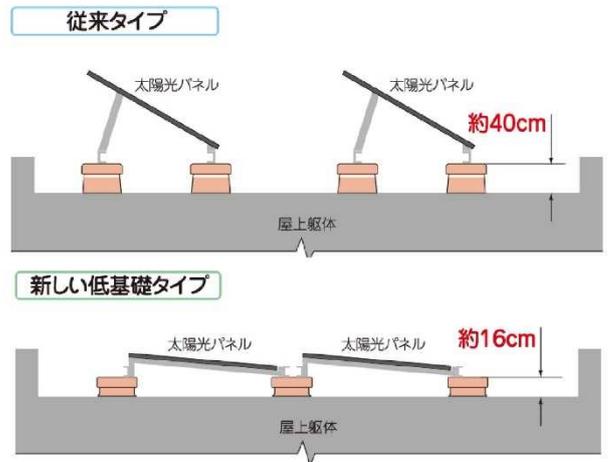
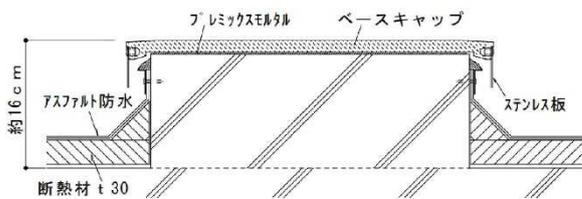


- ① パネル(合板)を組立て、S型枠を落とし込む。
- ② パネルの中にコンクリートを流し込む。
- ③ コンクリートが乾いたら、パネルをはずし完成。

☆ ソーラーパネル用低基礎用カバーパネル

基礎の1種類としてソーラーパネル架台用基礎がある。通常のタイプは右写真のようになるが、既存建物特にマンション等の改修工事では、ソーラーパネルが高さに算入されるケースがあり、高さをなるべく低くすることが求められる。

高さを抑えるために防水立ち上がりに必要な高さだけコンクリートを立ち上げて、その天端にステンレス製水切りを取付けたカバーパネルを設置し、ソーラーパネル架台のアンカーボルトで固定する。



施工例



販売元：株式会社ニチアスセムクリート

◆ 本商品は、株式会社長谷工コーポレーションと株式会社ニチアスセムクリートの共同開発品です。外販を行っていますので、上記販売元にお問い合わせ願います。

* 各社/各商品の詳細は、会員名簿から各社ホームページにアクセスして、参照願います。